

## 高級茶ドリンク需要に応える高級覆い下夏茶生産体系の開発

### 1 中核機関・研究総括者

福岡県農業総合試験場 堺田 輝貴

### 2 研究期間

2006～2008 年度（3 年間）

### 3 研究目的

近年、高級茶ドリンクの生産が増加しており、その原料として玉露等の高品質な覆い下茶の低コスト生産が望まれている。しかし、玉露は一番茶のみの生産であるため収益性や労働生産性が低く、生産量は激減して供給不足が深刻化している。そこで、高温・強日射下でも高品質茶を生産できる被覆資材を開発し、既開発の省力棚施設と併用して、二、三番茶で低コストかつ高品質な茶を生産する高級覆い下夏茶（遊離アミノ酸 2.5%以上、カテキン 12%以下）生産体系を確立する。さらに、高級覆い下夏茶の品質指標化やドリンク適性評価を行い、用途拡大を目指す。

### 4 研究内容及び実施体制

#### ① 高級覆い下夏茶に適した被覆資材の開発（九州電力（株）、九州大学、ダイオ化成（株）、福岡県農業総合試験場）

高品質茶生産に適した光及び温度等の好適環境条件を解明し、茶生産にとって不適な高温・強日射条件で高品質茶生産が可能な被覆資材を開発する。

#### ② 高級覆い下夏茶生産体系の確立（福岡県農業総合試験場、九州大学、九州電力（株））

一番茶のみの摘採である従来の玉露に加えて、二、三番茶を高級覆い下夏茶として生産する栽培体系（仕立て法、施肥法、被覆法、摘採法）を確立する。

#### ③ 高級覆い下茶ドリンク等への利用技術の確立（福岡八女農業協同組合、福岡県農業総合試験場）

高級覆い下茶の持つ高品質・高級感の維持と、消費者・実需者に明確な品質表示を行うため、旨味成分等から高級覆い下夏茶の品質指標を確立する。さらにドリンクへの利用・適性評価を行い、用途拡大を目指す。

### 5 目標とする成果

従来の一番茶玉露で高品質・低コスト化が図られるとともに、二、三番茶を低コストで高品質な高級覆い下夏茶として生産できる。これにより、生産者の収益性向上と規模拡大が期待され、生産量の拡大と廉価・高品質覆い下夏茶の安定供給が可能となる。さらに、安全・安心な国産原料でのドリンク生産と安価で美味しい高級覆い下夏茶の提供が可能となる。

# 高級茶ドリンク需要に応える高級覆い下夏茶生産体系の開発

伝統的な玉露栽培



・重労働で高コスト、収益性が低い  
→ 栽培面積・生産量の激減

機械化玉露園（技術シース）



・乗用型機械による省力化を実現！  
しかし二番茶は煎茶：玉露は増加せず

課題は・・・

- ・ドリンク需要に応じた生産量確保
- ・二、三番茶を玉露的に高品質化

## 研究内容

### 被覆資材の開発

光質、光量等の  
最適環境条件  
素材、織り方  
耐候性、耐久性

### 被覆内環境制御法の開発

被覆内の  
環境特性解明  
通風法による制御

### 生産体系の確立

仕立て法、施肥法  
被覆方法  
摘採方法

### 品質指標の確立 及びドリンク適性評価

呈味・香気成分  
抽出特性  
モニター試験

高級覆い下夏茶  
生産体系の開発

## 達成目標

二、三番茶を玉露的な覆い下茶として生産する  
高級覆い下夏茶体系の確立

## 期待される波及効果

- ①高級覆い下夏茶生産による収益性の向上
- ②高級覆い下茶生産量の拡大による産地振興と高級茶の安定供給
- ③安全・美味しい・手軽な高級覆い下夏茶及びドリンクの提供